

ランチョンセミナー (1LS-B)

生物物理 2005 札幌

11月23日（第1日）B会場 12:00～12:55

ランチョンセミナー 要旨

1分子蛍光法による SNP タイピング 「ノバスジーンにおける SNP トータルソリューション」

牧野 徹（株式会社ノバスジーン 代表取締役社長）

1分子蛍光検出技術（Fluorescence correlation spectroscopy : FCS）は、不要信号を除去しながら、個々の分子の蛍光特性を直接的に計測することにより極めて精度良く検出する分光分析技術です。ノバスジーンではFCS法とPCR-SSP法(Sequence specific primer PCR)を組み合わせたSNPタイピング技術を開発しました。FCS-PCR-SSP法は低いゲノム濃度のサンプルに対しても、再現性の良いデータが得られまた、微量分析ボリュームのため、大切なサンプルおよび試薬の消費量が少なくて済みます。

SNP 解析の特徴として、臨床情報、ラボからの実験情報、ゲノム配列情報をすべて組み合わせて解析を行う必要があるため、解析全体の流れを事前に設計し、後段の情報処理による解析を前提とした実験、データの取り扱いが必須となります。具体的には、

- ◆ 大量の情報を同時に処理する必要があるため、高速かつ堅牢なシステムが必要となる。
- ◆ 実験の解析精度を高いレベルで一定に維持する必要がある。
- ◆ 後段での情報処理に間違いが生じないように、実験サンプルの取り扱い注意が必要である。
- ◆ プライバシー保護のため、患者情報の取り扱いには注意が必要となる。

等の点に十分配慮しなければなりません。

今回ノバスジーンが提供する SNP トータルソリューションの詳細についてご説明します。

お問い合わせ先

株式会社ノバスジーン

営業部

〒192-8512 東京都八王子市久保山町 2-3

TEL 0426-96-4330 FAX 0426-91-6035

URL : <http://www.novusgene.co.jp> e-mail : sales@novusgene.co.jp